

菊炭プロジェクト—菊炭伝統文化の継承と次世代育成—

NPO法人 シニア自然大学 菊炭プロジェクト〇担当理事 堤 正克
大阪府北部農と緑の総合事務所 主査 島崎 敬
大阪府森林組合 豊能支店 技師 山田 一成

1. 活動方針・目的

菊炭体験講座を開講し(4年間)、人材を育成しその参加者を軸に菊炭クラブを設立し、現在約30名で活動を年間50回程度実施している。後継者問題と生産は絶滅危惧種から脱しつつある。今後は人材育成と同時に①クヌギの植樹②萌芽更新③生産の増加と茶道の拡大 等に努力して行きたい。平成18年4月にNPO法人池田炭振興協会を設立して茶道業界と連携。

2. 活動内容

その活動は大阪北摂・能勢町、豊能町、宝塚北部を中心に活動している。

①クヌギの森の保全活動②クヌギ伐採・炭焼作業③体験講座と市民大学講座開催④菊炭加工処設立(工芸品の製作・販売)⑤里山体験(炭焼)学習(次世代育成)開催 等幅広く行っている。後継者問題に繋げていくと同時に菊炭生産も絶滅危惧種から脱しつつある。池田炭の伝統文化を守ると同時に次世代育成を中心に据えて活動を展開して行きたい。

3. 今後の課題等

現在の能勢町、豊能町、宝塚北部 を中心に展開しているが、地元の観光資源、歴史文化も視野に入れて、北摂の「池田炭」を切り口に能勢町、豊能町の地域の活性化を目的に幅広く活動を展開する予定である。H20年度はロハスプロジェクトを立ち上げる予定であり、このロハスは新しいコンセプトであるが今後の日本の農業を再興する目的もあり、「21世紀型都市住民と農村の交流」を主体に新たなコミュニティづくりを行い、ロハスライフをPRし、都市の住民を「農」への参加を呼び掛けると共に、今後食糧問題にも対処できるように計画していきたい。

これが出来れば「大阪・北摂の元気な地域づくり」に貢献出来ると同時に今後予想される過疎地の限界集落を回避する一つの施策であると考えている。

菊炭プロジェクト

菊炭伝統文化の継承と次世代育成

➤ 4年間の推移と成果

➤ 今後への期待

発表者：NPO シニア自然大学 理事 堤 正克

NPO法人 シニア自然大学

- 堤 正克（つつみ まさかつ）NPO法人 シニア自然大学 理事
- 2000年3月 大手鉄鋼会社 退職
- 4月 NPO シニア自然大学 入学 その後 講座部AS
- 2003年4月 みどりの地域ボランティアスクール（泉佐野市）
- 6月 いこま棚田再生プロジェクト立ち上げ（いこま市）
- 2004年9月 （能勢町）「菊炭体験講座」開講
- 2005年6月 （タイ）植林プロジェクト（協働・立上げ）
- 10月 （能勢町）「第2回菊炭体験講座」開講 と「菊炭クラブ」設立
- 2006年1月 大阪教育大・池田小「炭焼体験学習」（実施）
- 10月 （能勢町）「第3回菊炭体験講座」開講
- 11月 （池田市）池田市民大学「池田炭づくり講座（受託）」
- 2007年1月 （宝塚市）「宝菊窯」菊炭クラブ（製作・完成・稼動）
- 8月 （豊能町）「森林体験学習」開講予定
- 9月 （能勢町青少年野外活動センター）能勢自然観察リーダーズクラブ（活動予定）
- 10月 第3回菊炭体験講座」開講予定
- その他大阪教育大・池田小と新しいテーマを模索中
- 人生のモットー：人生3毛作の実行
- 温暖化問題に注力したい（食糧問題、水問題、エネルギー問題）





菊炭について

- くぬぎ、こなら等 檜・樅類の樹木を焼いて炭としたとき、条件を整えて断面が美しい菊の花様の模様となる



- 木炭は焼く温度取り出し方で軟らか炭と堅炭がある
- 多分に工芸的、芸術的な文様で、お茶席などに使われる

NPO法人 シニア自然大学



菊炭プロと共生して



1. 活動の根源

- 伝統文化である菊炭の後継者難による衰退
- 菊炭の生産を支えてきた里山林の荒廃(自然破壊)

1. 活動方針・目的

1. 活動内容
2. 今後の課題



NPO法人 シニア自然大学

菊炭プロジェクト

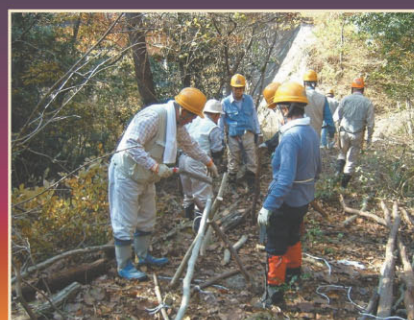
1. 活動の方針・目的

- ① 菊炭体験講座 (4年前開講) 人材育成
- ② 菊炭クラブを設立 現在約30名 年間50回程度
- ③ 更に地に足の付いた活動を目指す
 1. クヌギの植樹 萌芽更新 生産増加
 2. 菊炭使用の茶道の拡大
- ④ NPO法人 池田菊炭振興協会設立 茶道業界と連携

NPO法人 シニア自然大学

菊炭プロジェクト

2. 活動の内容



NPO法人 シニア自然大学

菊炭プロジェクト

2. 活動の内容-2



NPO法人 シニア自然大学

菊炭プロジェクト

2. 活動の内容ー3



NPO法人 シニア自然大学

菊炭プロジェクト

2. 活動の内容ー4



NPO法人 シニア自然大学

菊炭プロジェクト

2. 活動の内容－5



NPO法人 シニア自然大学

菊炭プロジェクト

2. 活動の内容－6



NPO法人 シニア自然大学

菊炭プロジェクト

3. 今後の課題

- ①地域興しとボランティア職人による生産軌道化
- ②ロハスプロジェクトとの運動の連携
- ③池田炭振興協会の後継者の支援活動
- ④能勢・地域の活性化及び青少年野外活動センターとの連携プレイ

NPO法人 シニア自然大学

菊炭プロジェクト



NPO法人 シニア自然大学

